

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 35	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 苗物生産における夏場の遮熱対策について	
<p>要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】</p> <p>パンジー等の苗物生産では酷暑期である8月に育苗を行う。その際、高温障害と思われる葉の奇形症状も見られる。明るさを確保しなければ徒長する恐れもあるので、出来る限り明るさを暗くしないで栽培できる環境の確保が必要である。</p> <p>そこで、寒冷紗以外の様々な遮熱資材やミスト等の遮熱設備による降温効果を確認するとともに、経済性についても解明願いたい。</p> <p>鉢もの・苗もの生産者 約200戸</p>	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名 農業技術センター	担当部所 生産技術部果樹花き研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可
<p>試験研究課題名 (①、②、④の場合)</p> <p>I-2 (4) 花き・観賞樹の高品質・安定生産技術の開発 ケ 花壇苗の安定生産技術の開発</p>	
<p>対応の内容等</p> <p>近年は、夏季が極端な高温となることの多い気象条件となっており、特にこの時期に播種、育苗を行うパンジー、ビオラを対象として実施すべき課題と考えます。</p> <p>平成21年～23年に遠赤色光吸収ネット、フィルムなどのパンジーの栽培における効果を検討して一定の成果を得ておりますが、高温化がより深刻となり、最近では新たな資材の開発も見られることから再度実施いたします。</p> <p>播種から鉢上げ、初期育苗は、施設内で行うことから、ガラス面に用いる遮熱塗布剤、遮熱、遮光ネット、各種の寒冷紗等の遮熱、遮光資材を組み合わせる栽培を行い、生育、気温、地温、光質、光量などを調査して夏季の好適な栽培環境について検討します。</p>	
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備考	